

令和元年度 県内小・中学校における農業体験学習実施状況調査結果(令和2年3月)

1 農業体験学習実施状況

(1) 農業体験を実施している小・中学校数

	小学校						中学校						小・中学校合計					
	学校数	回答数	回答率	実施校数	実施率	前回実施率	学校数	回答数	回答率	実施校数	実施率	前回実施率	学校数	回答数	回答率	実施校数	実施率	前回実施率
	(校)	(校)	(%)	(校)	(%)	(%)	(校)	(校)	(%)	(校)	(%)	(%)	(校)	(校)	(%)	(校)	(%)	(%)
	A	B	B/A	C	C/B		A	B	B/A	C	C/B		A	B	B/A	C	C/B	
大河原教育事務所	46	42	91.3	41	97.6	85.4	21	19	90.5	14	73.7	50.0	67	61	91.0	55	90.2	74.6
仙台教育事務所 ※1	66	63	95.5	58	92.1	79.7	39	35	89.7	25	71.4	73.3	105	98	93.3	83	84.7	77.5
北部教育事務所(大崎)	43	38	88.4	36	94.7	90.9	19	19	100.0	10	52.6	66.7	62	57	91.9	46	80.7	83.9
北部教育事務所(栗原)	12	10	83.3	9	90.0	90.0	7	7	100.0	4	57.1	42.9	19	17	89.5	13	76.5	70.6
東部教育事務所(登米)	22	21	95.5	21	100.0	86.4	10	9	90.0	5	55.6	55.6	32	30	93.8	26	86.7	77.4
東部教育事務所(石巻)	41	37	90.2	33	89.2	81.6	22	18	81.8	10	55.6	45.5	63	55	87.3	43	78.2	68.3
気仙沼教育事務所	20	19	95.0	18	94.7	94.1	14	11	78.6	7	63.6	27.3	34	30	88.2	25	83.3	67.9
仙台市教育委員会 ※2	120	86	71.7	76	88.4	69.8	64	49	76.6	46	93.9	90.9	184	135	73.4	122	90.4	77.5
私立ほか	5	4	80.0	3	75.0	50.0	8	7	87.5	2	28.6	16.7	13	11	84.6	5	45.5	30.0
合計・平均	375	320	85.3	295	92.2	80.4	204	174	85.3	123	70.7	65.3	579	494	85.3	418	84.6	75.1

※1 塩竈市,名取市,多賀城市,岩沼市,富谷市,亶理郡,宮城郡,黒川郡/※2 仙台市

2 農業, 林業, 水産業体験学習等実施状況

(1) 農業体験に加え, 水産業や林業体験, 体験以外の講話や施設見学, 事前学習等, いずれかを実施している小・中学校数

	小学校						中学校						小・中学校合計					
	学校数	回答数	回答率	実施校数	実施率	前回実施率	学校数	回答数	回答率	実施校数	実施率	前回実施率	学校数	回答数	回答率	実施校数	実施率	前回実施率
	(校)	(校)	(%)	(校)	(%)	(%)	(校)	(校)	(%)	(校)	(%)	(%)	(校)	(校)	(%)	(校)	(%)	(%)
	A	B	B/A	C	C/B		A	B	B/A	C	C/B		A	B	B/A	C	C/B	
大河原教育事務所	46	42	91.3	41	97.6	87.8	21	19	90.5	16	84.2	61.1	67	61	91.0	57	93.4	79.7
仙台教育事務所 ※1	66	63	95.5	61	96.8	86.4	39	35	89.7	27	77.1	73.3	105	98	93.3	88	89.8	82.0
北部教育事務所(大崎)	43	38	88.4	38	100.0	90.9	19	19	100.0	11	57.9	72.2	62	57	91.9	49	86.0	85.5
北部教育事務所(栗原)	12	10	83.3	9	90.0	90.0	7	7	100.0	4	57.1	71.4	19	17	89.5	13	76.5	82.4
東部教育事務所(登米)	22	21	95.5	21	100.0	100.0	10	9	90.0	7	77.8	55.6	32	30	93.8	28	93.3	87.1
東部教育事務所(石巻)	41	37	90.2	33	89.2	92.1	22	18	81.8	14	77.8	59.1	63	55	87.3	47	85.5	80.0
気仙沼教育事務所	20	19	95.0	18	94.7	100.0	14	11	78.6	9	81.8	63.6	34	30	88.2	27	90.0	85.7
仙台市教育委員会 ※2	120	86	71.7	83	96.5	80.2	64	49	76.6	47	95.9	94.5	184	135	73.4	130	96.3	85.4
私立ほか	5	4	80.0	4	100.0	50.0	8	7	87.5	3	42.9	16.7	13	11	84.6	7	63.6	30.0
合計・平均	375	320	85.3	308	96.3	87.3	204	174	85.3	138	79.3	73.3	579	494	85.3	446	90.3	82.4

※1 塩竈市,名取市,多賀城市,岩沼市,富谷市,亶理郡,宮城郡,黒川郡/※2 仙台市

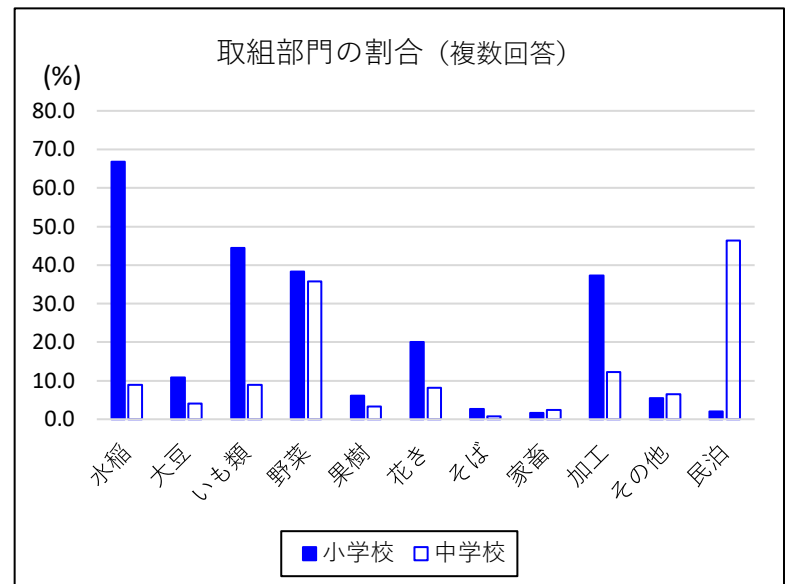
【結果の概要】

- (1) 回答率は85.3%(平成29年度調査86%)
- (2) 県内小・中学校の農業体験学習実施率は84.6%(平成29年度調査75.1%)
- (3) 県内小・中学校の農業体験学習等実施率は90.3%(平成29年度調査82.4%)

3 農業体験学習実施校での具体的な取り組み内容

(1) 取り組んでいる部門 実施校数に占める取組部門の割合(複数回答)

	水稲	大豆	いも類	野菜	果樹	花き	そば	家畜	加工	その他	民泊
小学校	66.8	10.8	44.4	38.3	6.1	20.0	2.7	1.7	37.3	5.4	2.0
中学校	8.9	4.1	8.9	35.8	3.3	8.1	0.8	2.4	12.2	6.5	46.3



【結果の概要】

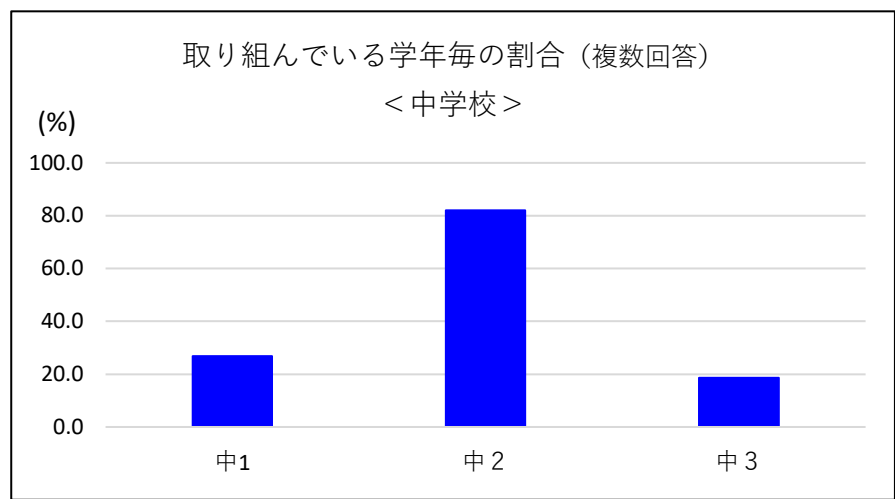
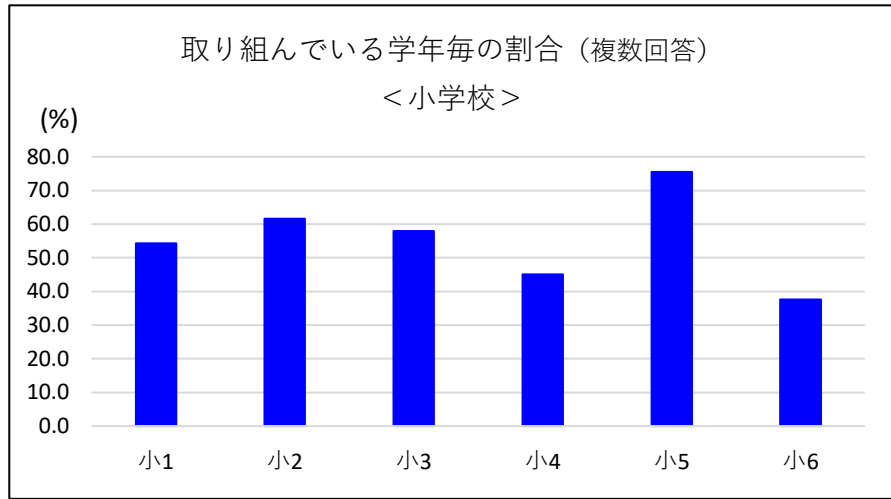
- ① 小学校では「水稲」、「いも類」、「野菜」を材料とした農業体験学習を実施している学校が多く, 収穫物を「加工する」体験までを組み合わせている学校も多い。
- ② 中学校では「民泊」での農業体験学習を行う学校が多いほか, 野菜の栽培や加工で地域食を学ぶ学習も取り入れられている。

【取り組みの具体例】

- ・JAの協力をいただきながら水稲の一連の作業を体験し, 品種の食べ比べを行った。
- ・サツマイモを植え, 収穫祭でスイートポテト作りを行った。サツマイモのツルはリースづくりで使用した。
- ・地元の農家さんを講師に, 地域の伝統料理の云われを学び, 調理して食べた。
- ・枝豆を栽培し, ずんだ団子を作った。

(2) 取り組んでいる学年 実施校数に占める取組学年の割合(複数回答)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6		中1	中2	中3
小学校	54.2	61.7	58.0	45.1	75.6	37.6	中学校	26.8	82.1	18.7



【結果の概要】

- ①小学校では5年生での取り組みが多いが、他の学年でもまんべんなく実施されている。
- ②中学校では中学2年生のときに実施する学校が多く、民泊(教育旅行)による農業体験が多い。

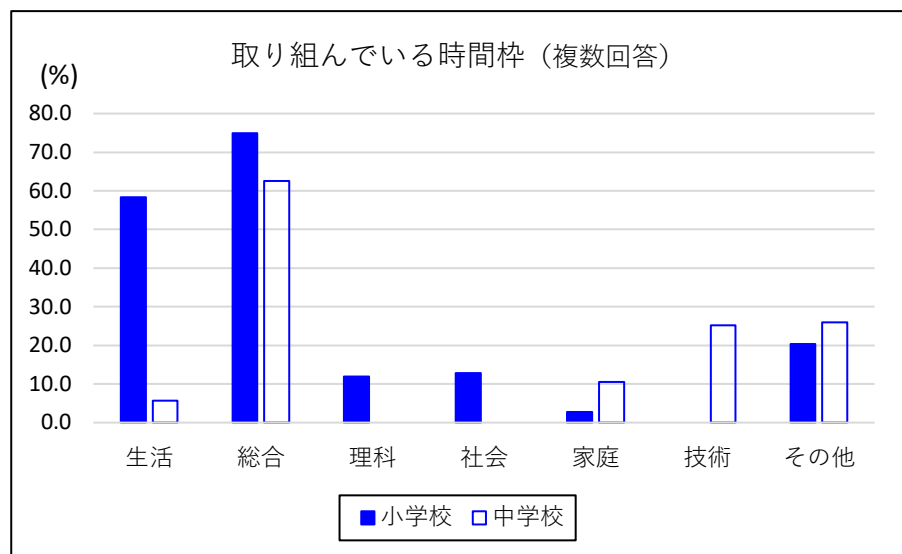
(3) 取り組んでいる時間枠

実施校数に占める取り組んでいる時間枠の割合(複数回答)

	生活	総合	理科	社会	家庭	技術	その他
小学校	58.3	74.9	11.9	12.9	2.7	0.0	20.3
中学校	5.7	62.6	0.0	0.0	10.6	25.2	26.0

【結果の概要】□

- ①小学校では「総合的な学習の時間」での取り組みが最も多く、次いで「生活の時間」での取り組みが多い。
- ②中学校では「総合的な学習の時間」で取り組む学校が半数を占める。教育旅行の時間を「総合」の時間としてとらえるか、「その他」の「行事」としてとらえるかは学校によって違うことから、その他の時間も多くなっている。



(4) 学習の場所

実施校数における学習の場所毎の割合(複数回答)

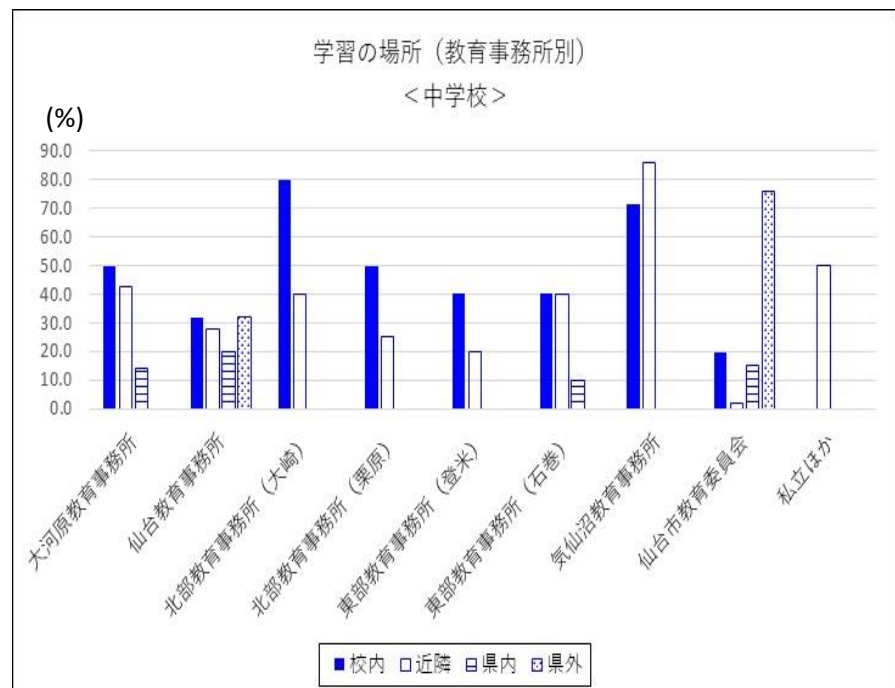
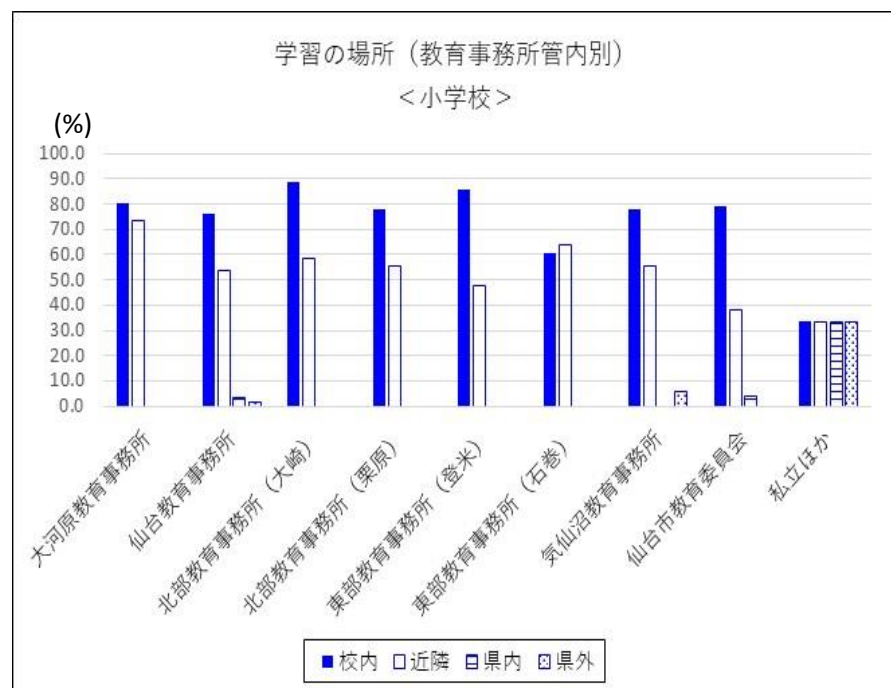
	小学校				中学校			
	校内	近隣	県内	県外	校内	近隣	県内	県外
大河原教育事務所	80.5	73.2	0.0	0.0	50.0	42.9	14.3	0.0
仙台教育事務所	75.9	53.4	3.4	1.7	32.0	28.0	20.0	32.0
北部教育事務所(大崎)	88.9	58.3	0.0	0.0	80.0	40.0	0.0	0.0
北部教育事務所(栗原)	77.8	55.6	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0
東部教育事務所(登米)	85.7	47.6	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0
東部教育事務所(石巻)	60.6	63.6	0.0	0.0	40.0	40.0	10.0	0.0
気仙沼教育事務所	77.8	55.6	0.0	5.6	71.4	85.7	0.0	0.0
仙台市教育委員会	78.9	38.2	3.9	0.0	19.6	2.2	15.2	76.1
私立ほか	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	50.0	0.0	0.0
平均	73.3	53.2	4.5	4.5	42.6	37.1	6.6	12.0

【結果の概要】□

- ①小学校の約7割、中学校の4割は校内の畑や花壇を利用した学習を進めている。
- ②小、中学校いずれも、校内の他、近隣の水田や畑を借り、「学校農園」を設置した中で活動を展開している他、近隣の農家の水田や畑を訪問し、種まき、定植、収穫体験など単発でおこなう体験学習の形態もある。
- ③仙台市内及び仙台近郊の中学校では県内または県外農家等への民泊により、農業体験学習を行っている学校が多い。

【民泊先の例】

秋田県(大仙市, 田沢湖周辺 等) 山形県(金山町等)  
 福島県(喜多方市, 南会津 等) 宮城県(加美町, 登米市, 気仙沼市 等)  
 岩手県(奥州市, 安比高原, 一関, 雫石町 等)

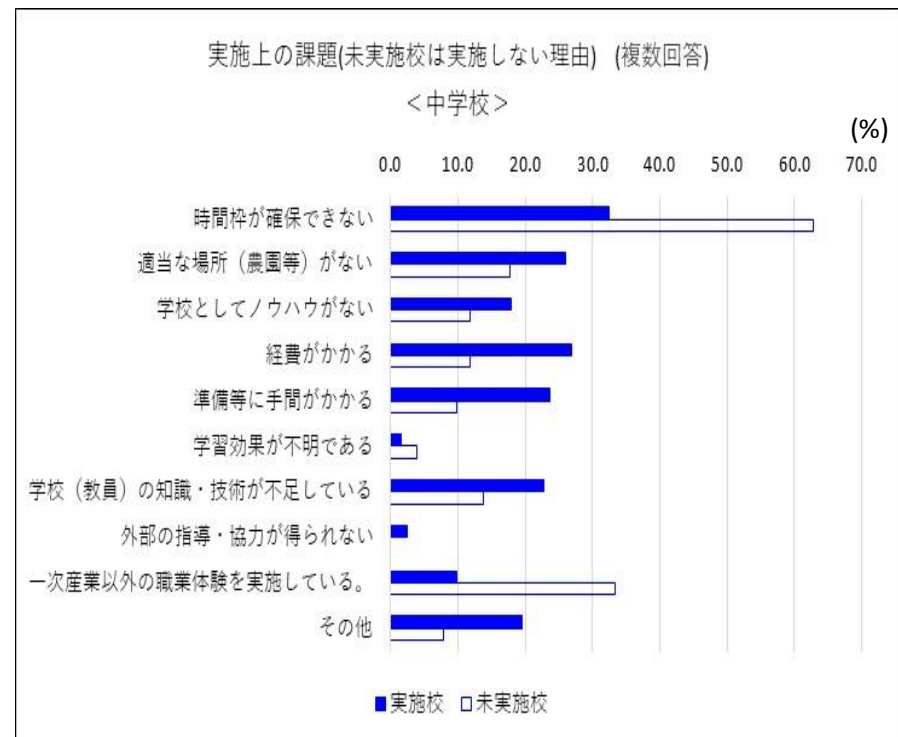
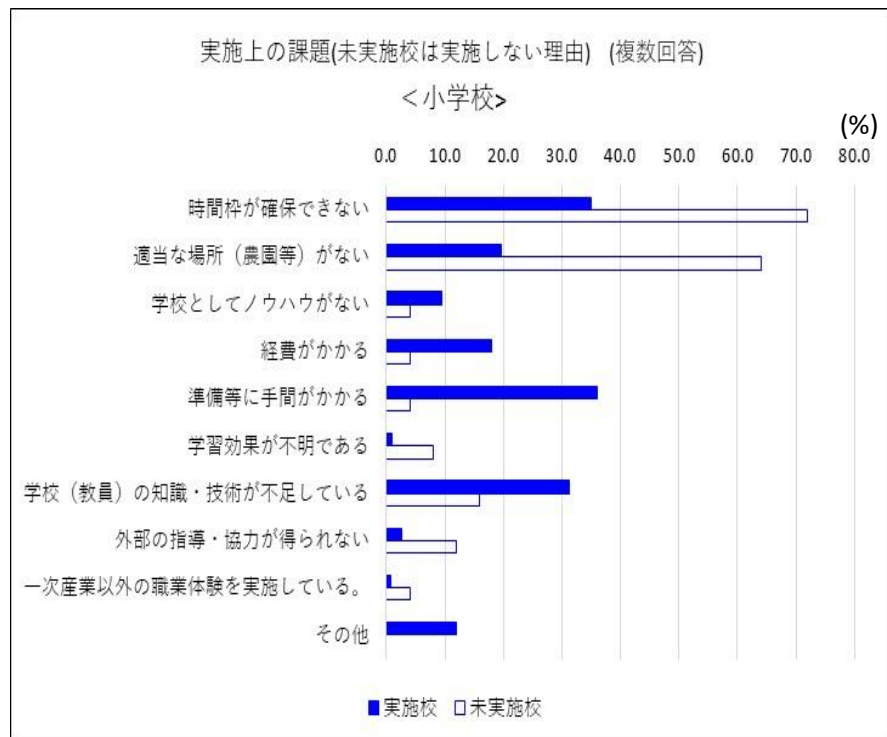


#### 4 農業体験学習を実施する上での課題(未実施校は実施しない理由)と今後の取組予定

##### (1)実施上の課題(未実施校は実施しない理由)(複数回答)

課題または理由(※)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
小学校	実施校	34.9	19.7	9.5	18.0	35.9	1.0	31.2	2.7	0.7	11.9
	未実施校	72.0	64.0	4.0	4.0	4.0	8.0	16.0	12.0	4.0	0.0
中学校	実施校	32.5	26.0	17.9	26.8	23.6	1.6	22.8	2.4	9.8	19.5
	未実施校	62.7	17.6	11.8	11.8	9.8	3.9	13.7	0.0	33.3	7.8

- (※) ①時間枠が確保できない  
②適当な場所(農園等)がない  
③学校としてノウハウがない  
④経費がかかる  
⑤準備等に手間がかかる  
⑥学習効果が不明である  
⑦学校(教員)の知識・技術が不足している  
⑧外部の指導・協力が得られない  
⑨一次産業以外の職業体験を実施している。  
⑩その他



#### 【結果の概要】

##### (小学校)

- ①実施校における実施上の課題は、「時間枠が確保できない」、「準備に手間がかかる」など、時間的な課題に加え、「学校(教員)の知識・技術不足」があげられている。
- ②未実施校における学習に取り組まない理由として、「時間枠が確保できない」、「適当な場所(農園等)が確保できない」要因が大きい。
- ③未実施校は上記②に加え、実施校よりも「外部の指導・協力が得られない」割合が高く、学習に取り組みにくい条件がいくつか重なっている。
- ④未実施校は実施校に比較し「学習効果が不明である」と感じている割合が大きく、「一次産業以外の職業体験を実施している」が実施校よりも多い。

##### (中学校)

- ①実施校における実施上の課題は、「時間枠が確保できない」、「適当な場所が確保できない」など、学習環境に加え、「経費」や「手間」、「学校(教員)の知識・技術不足」があげられている。
- ②未実施校における学習に取り組まない理由として、実施校同様「時間枠が確保できない」回答が6割を占める一方で、「一次産業以外の職業体験」に重きを置いている学校が多い。

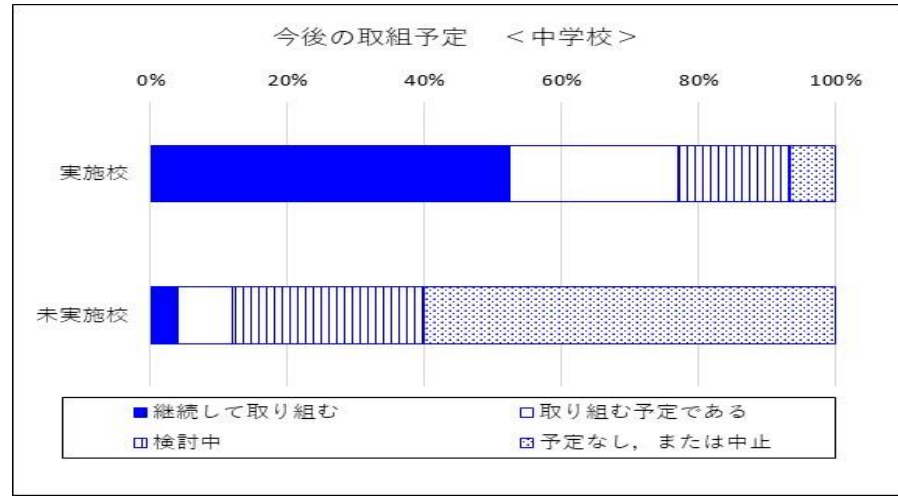
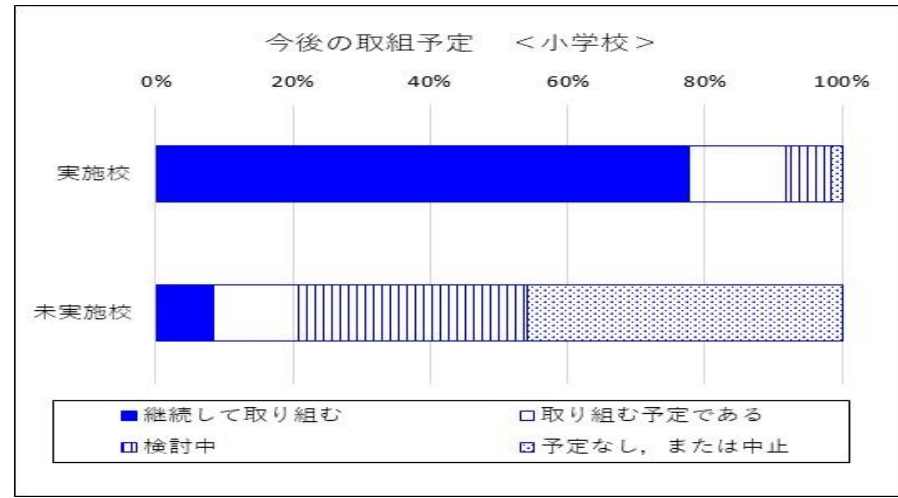
#### 【その他の例】

- ・学校の予定と、協力してくださる方々とのスケジュール調整が難しい
- ・機材を借りる手間、指導する人材・協力を得るところが誰かどこかを引き継いでいくところ(担当者も代わるので)
- ・移動手段、それに伴う経費の確保が難しい
- ・徒歩移動に時間を要することや安全確保に課題がある。
- ・天候に左右されるため実施できないこともある
- ・学区内に田がなく、畑もほとんどない。農業はほとんど行われていない。
- ・今年度サツマイモがイノシシに荒らされ、収穫できなかった
- ・稲刈りと田植えは体験するが、育つ過程を見たり世話をしたりすることができない(田が遠いため)。農作物の日々の世話ができない。
- ・食育は必要だと思うが農業体験が学校で必要かは十分な検討が必要
- ・教育課程に設置されていない



(2) 今後の農業体験学習の取組予定

		継続して取り組む	取り組む予定である	検討中	取り組む予定はない、または中止する
小学校	実施校	76.9	13.9	6.4	1.7
	未実施校	8.0	12.0	32.0	44.0
中学校	実施校	52.0	24.4	16.3	6.5
	未実施校	3.9	7.8	27.5	58.8



【結果の概要】

(小学校)

- ①実施校における農業体験学習の今後の取り組みは、「継続して取り組む」、「取り組むよていである」をあわせると9割を超える。
- ②未実施校では今後も取り組む予定がない学校が約半数となっており、今後さらに新学習指導要領の実施等により時間確保の難しさが課題になっている。

(中学校)

- ①実施校における農業体験学習の今後の取り組みは、「継続して取り組む」、「取り組むよていである」をあわせると約8割と高い。
- ②未実施校では今後も取り組む予定がない学校が約6割となっており、今後さらに新学習指導要領の実施等により時間確保の難しさが課題になっている。

【農業体験学習に関する自由意見の例】

(小学校)

- ・地域ボランティアやJAの方々から学ぶことで、よい世代交流ができています。そのため地域への愛着が生まれ豊かな人間性を育むことができると感じている。
- ・野菜の栽培についてうまく実らずに収穫に至らないものもあった。子供たちには手がけた野菜を収穫する喜びを味わわせたい。
- ・単年(単発)での活動ではなく、継続した取組ができる支援や計画、人材等の整備が課題
- ・身近なところに協力して下さる方々がいることで実施が可能となっている。また金銭的な面での支援も必要。
- ・体験をともなった学びが重要であることは間違いない。課題となるのは通常授業との時数バランスであり、「体験あって学びなし」になる場合もある。やみくもに「体験ありき」にならないよう、カリキュラムマネジメントを進める必要がある。体験学習の位置づけ等を見直して整理していきたい。
- ・重いアレルギーがある児童がいた場合の対応も考えていく必要がある。
- ・細かな実施計画を立て、地域や保護者との連携を大切にしながら実施する必要がある。
- ・体験は継続していきたいが農家の方の都合もあるので、いつまで同様の体験ができるかという不安はある
- ・外国語、道徳が教科になり、今後はさらに体験学習等の時間確保が課題になると予想される。

(中学校)

- ・体験後の関心や考え方に変化がみられ、作物の栽培や食に対する考え、動物の飼育など知らなかった経験を積むことで大変有意義だったと感じる。
- ・体験先や講師についての情報、体験場所への移動手段の確保など幅広い支援をお願いしたい。
- ・貴重であることはよく理解しているが、現在行っている諸行事だけでかなり手一杯のところがある
- ・授業時数確保や他の行事や体験学習との兼ね合いで、実施が難しい現状。体験するのであれば昔の農林業の体験ではなく近代化(機械化)された作業等を体験し「たいへんだ」というイメージを払拭するのよいかと思う。
- ・学校職員以外でコーディネートしていただけるような人材を創る必要がある(地域か行政)。働き方改革に逆行し学校職員の負担が大きくなる。
- ・一次産業にかかわらず多く職業体験が必要であると考えている。

【参考】農業、林業、水産業体験学習等実施状況について

(1) 取り組んでいる部門 (複数回答) 学校数(校)

	農業		水産業		林業			
	講話	訪問	体験	講話	訪問	体験	講話	訪問
小学校	26	65	59	6	55	27	4	3
中学校	16	13	19	3	6	10	2	2
合計	42	78	78	9	61	37	6	5

【取り組み事例】

- ・見学:カントリーエレベーター、みそ・しょうゆ工場、かまぼこ工場、缶詰工場、水揚げ作業 等
- ・水産業:稚魚の放流、わかめの種付け、ホタテの耳吊り作業、魚の裁き方調理実習 等
- ・林業:植林作業、植樹、木工細工、下草刈り作業、間伐作業 等